

2009年11月16日

平成21年度科学フェスティバル「動いているのに止まって見える」報告書
((社)電子情報通信学会四国支部共催)

ブースの参加者

11月14日(土)	70名
11月15日(日)	80名
計	150名

概要

模様をつけたコマを蛍光灯、白熱電球、LED電球の下で回し、蛍光灯でストロボ効果が現れることを体験してもらった。また、CD-Rを使った分光器を作成してもらい、白色光が複数の色に分離できることや、光源によってスペクトルが異なることを体験してもらった。

実施責任者

愛媛大学大学院理工学研究科
本村英樹



分光器作成風景



分光器による観察風景



作成した分光器



ストロボ現象観察風景